井原公民館だより

第95号
発行所　井原公民館
館　長　山岡　弘幸
電　話　62-8478

鬼まつり

鬼まつりパレードは、雨天のため、やむなく中止いたしました。鬼まつりを盛り上げるべくご尽力いただいた関係者各位、また鬼まつりを楽しみにされていた皆様には、本当に心苦しい決断となりましたが今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

井原町まちづくりの会
会長　落合　政満

十月二十五日（日）、台風三十号と秋雨前線の影響であいにくの雨、残念ながら今年の鬼まつりは中止となりました。

今年は「総合的な学習の時間」の一環として、井原小学校四年生の児童たちが鬼まつりを盛り上げるべく、特別な取り組みを進めていました。

きっかけは、地域の方々から「以前に比べ鬼まつりに参加する人が少なくなってきている。」という切実な話を聞いたことでした。「自分たちの大好きな井原の伝統行事を、なんとか自分たちの手で活気づけたい！」「もっとたくさんの人に鬼まつりの魅力を伝えたい！」と強い思いを抱いた子どもたち。そこから、お祭りを大いに盛り上げるためのオリジナルソングと踊りの制作が始まりました。

子どもたちは鬼まつりの由来や歴史、衣装の意味などを自分たちで詳しく調べ上げ、地域への願いや元気を一語一語に詰め込んで歌詞を完成させました。まつり本番の休憩地点で地域の皆様に笑顔とパワーを届けようと、声を掛け合いながら熱心に踊りや歌の練習を重ねてきました。

あいにくの天候により、街頭での披露という晴れ舞台はまたの機会となってしまいましたが、地域を大切に想う子どもたちの温かい情熱と積み重ねてきた努力が消えることはありません。本番での披露は叶いませんでしたが、子どもたちが地域の未来を想い、心を込めて創り上げた自慢の歌を、ぜひ皆様もQRコードよりお聴きいただき、子どもたちの温かい想いを感じ取っていただければ幸いです。

井原小学校　校長　三宅　淳



井小４年生 自作の歌詞

「おにじゃ」
作詞・井原小４年生

むかし おにが100ぴきいたよ
たけぼうにごへいをつけて
なんでかさねぎするのだろう
しょうてんがいをしんせいに
いばら あがれあがれあがれ
たいこ あわせてねりあるく
こどもがなきさけぶあきまつり
わるいきをはらう みなのため
いばらみこしかついで
ごしんこうのさきばらい
おにじゃおにじゃおにじゃ

QRコードにスマホでアクセスすると「おにじゃ」の音楽が流れます。音量にご注意ください。

井原まつり☆まんてん２０２６

八月一日（土）、井原駅前を会場に「井原まつり☆まんてん２０２６」が開催されました。会場ではお昼頃から様々なイベントが行われ、夕方から総踊りがスタート。

井原町まちづくりの会からは「ひまわり」が出場しました。「井原☆まんてん（よさこいアレンジver）」と「備中ホイサ」の二曲を休憩を挟みながら踊ります。この総踊りでは色々な項目の審査があり、総合得点で順位を決めます。

「ひまわり」の皆さんは、とびきりの素敵な笑顔と大きな掛け声で注目を集めていました。今年は衣装も一新、鮮やかな緋色が映えるハッピに、淡い色の扇を手に華やかな雰囲気で周りの目を楽しませてくれました。

なんと最終審査で見事優勝！みなさんの練習の成果が遺憾なく発揮された結果です。井原町まちづくりの会落合会長は「みなさんの笑顔が絶えなかった上に、綺麗に揃った踊りで他を圧倒していました。優勝できて本当に嬉しいです。おめでとうございます。」と話されていました。





井原町盆おどり大会

八月十四日(金)、井原公民館駐車場特設会場で、毎年恒例の井原町盆おどり大会が今年も賑やかに開催されました。

暑さを避けるため、早朝からヤグラや提灯の設置、夜店の準備などを行いました。お昼前に強い雨が降り、一時は屋外での開催も危ぶまれましたが、なんとか天候も回復、無事計画通りの開催となりました。

オープニングを飾った長発太鼓の演奏では息の合った勇壮なバチさばきに大きな拍手が起こっていました。

山岡公民館長や来賓の方々の挨拶に続き、いよいよお待ちかねのおどりがスタート。揃いの衣装で会場を沸かせます。曲目は「井原音頭」「備中ホイサ」「いばら☆まんてん」そして「ジーンズ音頭」となじみの曲ばかりで、思わず踊りに参加される方も、いらっしゃいました。

また、夜店に目を向ければ射的やボールすくいなどは準備した景品が今にも底をつきそうなほど子供たちに大人気で、アイスやビールの売場は、涼を求める人で長蛇の列となっていました。

最後に閉会宣言があり、真夏の祭典は定刻に幕を閉じました。ご来場の皆様、ご参加の皆様、関係者の方々には大変ありがとうございました。

